

平成 30 年度全国安全週間における茨城労働局の主な取り組み

1 6月の安全週間準備期間における茨城労働局の主な取り組み

建設業に対する労働災害防止対策

6月19日に開催される「建設業『死亡災害ゼロ』推進大会」(主催 建設業労働災害防止協会茨城県支部)に労働基準部長と主任産業安全専門官が出席し、茨城県内に所在する建設業者に対して、墜落・転落災害や熱中症災害防止対策の呼び掛けを実施する。(出席予定事業場:約200事業場)

運輸・貨物業に対する労働災害防止対策

6月16日に開催される「交通事故・労働災害防止大会」(主催(一社)茨城県トラック協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城県支部)に労働局長が出席し、茨城県内に所在する道路貨物運送業を営む事業者に対して、交通労働災害、荷台からの墜落・転落など荷役作業での災害防止対策の呼び掛けを実施する。(出席予定事業場:約500事業場)

社会福祉施設に対する労働災害防止対策

6月5日・8日に開催される「介護サービス施設・事業所管理者等研修会」(主催 茨城県保健福祉部)において、主任産業安全専門官が出席し、茨城県内に所在する社会福祉施設の管理者等に対して、転倒災害や腰痛災害の防止対策の呼び掛けを実施する。(出席予定者:約3,000名)

2 7月の安全週間本週間における茨城労働局・各労働基準監督署の安全パトロールの実施

労働局長による安全パトロール

7月2日 建設工事現場 (計画中、詳細は後日発表)

各労働基準監督署長等による安全パトロール

3 その他の取り組み

上記のほか、6月に出席を予定している各災害防止団体等の総会・研修会において、労働基準部長や健康安全課長等から、労働災害防止の徹底について指導を行うこととしている。

6月14日:(一社)茨城県ビルメンテナンス協会総会(労働基準部長出席)

6月18日:(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会総会(労働基準部長・健康安全課長出席)